

アブソリュート・チェアーズ Absolute Chairs

2024 年 2 月 17 日（土）－ 5 月 12 日（日）

Ⅰ 展覧会概要

開館当初からデザイン椅子の名品を館内に設置してきた「椅子の美術館」が、従来のデザイン椅子展とは異なる新しい視点から「椅子」というテーマに挑みます。

椅子は多くのデザイナーや建築家の創造性を刺激する絶対的なテーマであると同時に、アーティストにとっても魅力的なモチーフとなってきました。玉座のように権威の象徴となることもあれば、車椅子のように身体の補助となることもあり、電気椅子のように死や暴力とも無縁ではない椅子。また、私たちが椅子に座って向き合えば、そこには関係が生まれます。この上なく身近でありながら、社会や身体との密接な関わりの中で幅広い意味や象徴性をまとった椅子は、まさに究極の日用品と言えるでしょう。

アーティストたちは椅子のもつ意味をとらえ、作品を通じて社会の中の不和や矛盾、個人的な記憶や他者との関係性などを浮かび上がらせてきました。アートのなかの椅子は、日常で使う椅子にはない極端なあり方、逸脱したあり方によって、私たちの思考に揺さぶりをかけます。

本展覧会は、主に戦後から現代までの美術作品における椅子の表現に着目するものです。椅子をめぐる国内外の平面・立体・映像作品約 70 点を紹介し、アートのなかの椅子の機能や含意を読み解きます。

*展覧会タイトル「アブソリュート・チェアーズ」は、デヴィッド・ボウイの曲名「アブソリュート・ビギナーズ」から連想した言葉です。本展覧会は、「アブソリュート＝絶対的・究極的」から導かれる「椅子の絶対的な魅力の源泉とは？」「アートにおける椅子の究極とは？」といった問いを出発点として企画されました。

Ⅰ 見どころ

1. 「椅子の美術館」が新たな視点で挑む、現代アートにおける「椅子」のテーマ。
2. 「椅子」がもつ多様な意味や象徴性を、現代アートを通して徹底考察。
3. 「椅子」をめぐる国内外の平面・立体・映像作品、約 70 点（作家数 28 組）が集結。



宮永愛子 《waiting for awakening -chair-》
2017 写真：木奥恵三
「宮永愛子：漕法」展示風景（高松市美術館、
香川、2019）
©MIYANAGA Aiko Courtesy of Mizuma Art
Gallery

■ 章構成

- 第一章 美術館の座れない椅子
- 第二章 身体をなぞる椅子
- 第三章 権力を可視化する椅子
- 第四章 物語る椅子
- 第五章 関係をつくる椅子

■ 出品作家（予定）

フランシス・ベーコン、ミロスワフ・パウカ、ハンス・オプ・デ・ベーク、ダラ・バーンバウム、ミシェル・ドゥ・ブロウン、副産物産店、クリストヴァオ・カニャヴァート（ケスター）、マルセル・デュシャン、アンナ・ハル普林、檜皮一彦、石田尚志、工藤哲巳、スッティー・クッナーウィチャーヤノン、草間彌生、ジム・ランビー、宮永愛子、名和晃平、岡本太郎、オノ・ヨーコ、ダイアナ・ラヒム、ローザス、シャオ・イーノン／ムウ・チェン、高松次郎、竹岡雄二、潮田登久子、アンディ・ウォーホル、渡辺眸、YU SORA

■ 開催情報

展覧会名	アブソリュート・チェアーズ
会 期	2024 年 2 月 17 日（土）－ 2024 年 5 月 12 日（日）
休 館 日	月曜日（4 月 29 日、5 月 6 日は開館）
開館時間	10:00～17:30（展示室への入場は 17:00 まで）
観 覧 料	一般 1300 円（1040 円） 大高生 1040 円（830 円） ・（ ）内は 20 名以上の団体料金 ・中学生以下と障害者手帳をご提示の方（付き添い 1 名を含む）は無料です。 ・企画展観覧券（ぐるっとパスを除く）をお持ちの方は、あわせて MOMA S コレクション（1 階展示室）もご覧いただけます。
出品点数	約 70 点（予定）
主 催	埼玉県立近代美術館、東京新聞
協 力	国立民族学博物館
助 成	遠山記念館 芸術・学術研究等助成金
広報協力	JR 東日本大宮支社、FM NACK5

■ 関連事業

本展覧会に関連するトークイベント、出品作家によるパフォーマンスおよびワークショップを予定しています。

■ 図録

公式図録『アブソリュート・チェアーズ 現代美術のなかの椅子なるもの』を平凡社より刊行予定です。

ISBN：928-4-582-20735-4

B5 変型 192 頁（予定）

■ 会場案内

埼玉県立近代美術館

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 9-30-1 TEL: 048-824-0111 FAX: 048-824-0119

<https://pref.spec.ed.jp/momas/>

■ プレスカンファレンス

展覧会初日（2024 年 2 月 17 日）の閉館後、プレス向けの説明会を予定しています。詳細は 1 月下旬に改めてお知らせします。

■ お問い合わせ

展覧会担当：佐伯、吉岡、松江／広報・画像に関するお問い合わせ：嶋原

TEL: 048-824-0111（代表）／048-824-0110（学芸直通） FAX: 048-824-0118

p2401115@pref.saitama.lg.jp（企画展担当）